

## 第116回 病態生化学セミナー

日時：平成29年6月30日（金曜日）午後6時00分～

場所：医学部講義棟1階 国際交流ラウンジ

演題：非 AUG 開始コドンの翻訳制御

Control of non-AUG translation in eukaryotes

演者：浅野 桂 先生

カンザス州立大学生物学科 教授

リボソームによる翻訳の開始コドンは AUG だが、GUG や CUG など非 AUG 開始コドンからの翻訳開始が最近注目されている。これらの非 AUG 開始コドンが幅広い生物種においてみられるのはどうしてだろうか？原核生物では、例えば GUG コドンを使うことで翻訳開始を RNA 構造変化によって効率よく調節することが可能になる。真核生物では非 AUG コドンからの開始は通常は高くないが、翻訳開始因子のバランスが崩れると高まる。これを防ぐために真核生物には5MPと呼ばれる調節因子が存在する。5MPは癌化を促す因子である。非 AUG 開始コドンは癌抑制遺伝子や癌原性遺伝子の翻訳開始にも使われており、非 AUG 開始コドンが癌化とその抑制にどう関連するのか考察したい。

【浅野 桂】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp

博士課程選択必修科目：基礎医科学(D3)、

博士課程選択科目：細胞生物学I(D6)、老化II(D20)、発生生物学I(D15)、発癌I(D22)、腫瘍生物学I(D24)、II(D25)、III(D26)、臨床腫瘍学I(D28)、II(D29)、III(D30)、IV(D31)、V(D32)、VI(D33)、地域がん治療学(D37-1)、口腔腫瘍学(D37-2)、薬物動態学I(D70)、腫瘍免疫学I(D79)、理工医学のための生物材料学(D103)

医科学専攻(修士課程)選択科目：

腫瘍の発生・増殖とその制御(M23)、理工医学のための生物材料学の基礎(M34)を履修している学生は、できる限りこのセミナーに出席してください。